

産業廃棄物処分業許可申請書

○ 年 ○ 月 ○ 日

神戸市長 宛

申請日を記入

申請者

法人の場合は、本店の所在地・
名称等を記入。

住 所 ○○県○○市○○町○-○-○

氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

○○株式会社 代表取締役 ○○ ○○

電話番号 (000)000-0000

代表者印は不要

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の規定により、産業廃棄物処分業の許可を受けたいので、関係書類及び図面を添えて申請します。

<p>事業の範囲 (処分の方法ごとに区分して取り扱う産業廃棄物の種類 (当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物, 水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合はその旨を含む。)を記載すること。)</p>	<p>中間処理 破碎 廃プラスチック類 紙くず・・・ 以上○種類 (以上, 石綿含有産業廃棄物, 水銀使用製品産業廃棄物を除く。)</p>
<p>事務所及び事業場の所在地</p>	<p>事務所 神戸市○○区○○町○-○-○ 電話番号 (000)-000-0000 事業場 神戸市○○区○○町○-○-○ 電話番号 (000)-000-0000</p>
<p>事業の用に供するすべての施設 (施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号 (産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限る。)を記載すること。)</p>	<p>施設の種類: 破碎施設 設置場所: 事業場住所と同じ 設置年月日: ○年○月○日 処理能力: 廃プラスチック類 ○ t/日, 紙くず ○ t/日 許可年月日: ○年○月○日 許可番号: 第○○○○号</p> <p>設置年月日は、使用前検査の確認通知書の日付。</p> <p>要綱の届出施設の場合は、届出受理年月日及び届出受理番号</p>
<p>保管を行う場合には、保管を行うすべての場所の所在地、面積、保管する産業廃棄物の種類 (当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物, 水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合はその旨を含む。)、処分等のための保管上限及び積み上げることができる高さ</p>	<p>所在地: 事業場住所と同じ 保管面積: 処理前○○m², 処理後○○m² 保管する産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類 紙くず 処分等のための保管上限及び積み上げ高さ: 資料No. 16 のとおり</p>
<p>事業の用に供する施設の処理方式、構造及び設備の概要</p>	<p>資料No. 17 のとおり</p>
<p>※ 事 務 処 理 欄</p>	

(第2面)

既に処理業の許可(他の都道府県のものを含む。)を有している場合はその許可番号(申請中の場合には、申請年月日)	都道府県・市区名	許可番号(申請中の場合には、申請年月日)
	兵庫県	第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
	記入欄が不足する場合は、別紙を作成。	

申請者(個人である場合)

(ふりがな) 氏 名	生 年 月 日	本 籍
		住 所

(法人である場合)

(ふりがな) 名 称	住 所
●●かぶしがいいしゃ 〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

法定代理人(申請者が法第14条第5項第2号ハに規定する未成年者である場合)

(個人である場合)		
(ふりがな) 氏 名	生年月日	本 籍
		住 所

(法人である場合)	
(ふりがな) 名 称	住 所

役員(法定代理人が法人である場合)

(ふりがな) 氏 名	生年月日	本 籍
	役職名・呼称	住 所

役員(申請者が法人である場合)

(ふりがな) 氏 名	生 年 月 日	本 籍	住民票にあわせて記入。記入欄が不足する場合は、別紙を作
	役職名・呼称	住 所	
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日 代表取締役	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	外国人の場合 ①生年月日は西暦表示, ②「本名とフリガナ」、「通称名とフリガナ」を両方記載 記載例 ●●● ●●● (本名のフリガナ) 〇〇 〇〇 (本名) ●●● ●●● (通称名のフリガナ)
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日 取締役	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日 取締役	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日 監査役	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	

(第3面)

発行済株式総数の100分の5以上の株式を有する株主又は出資の額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者（申請者が法人である場合において、当該株主又は出資をしている者がいるとき）

発行済株式の 総数	〇〇〇 株		出資の額	〇〇〇〇 円
(ふりがな) 氏名又は名称	生年月日	保有する株式の数 又は出資の金額		本 籍 所
		割	合	
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月	〇〇株	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
	〇日	40%	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
●●しょうじ 〇〇商事		〇〇株		〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
		20%	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
●●しょうじ 〇〇商事		〇〇株		〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
		20%	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
			住民票、法人登記事項証明書にあわせて記入。 記入欄が不足する場合は、別紙を作成。	

令第6条の10に規定する使用人（申請者に当該使用人がある場合）

(ふりがな) 氏名	生年月日	本 籍 所
	役職名・呼称	住 所
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
	〇〇工場 工場長	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
		住民票にあわせて記入

備考

- ※欄は記入しないこと。
- 「法定代理人」の欄から「令第6条の10に規定する使用人」までの各欄については、該当するすべての者を記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付すること。
- 「役員」の欄に記載する役員とは、業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。
- 神戸市長が定める部数を提出すること。

※手数料欄

現在の事務所位置図・写真

事務所所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
事務所位置図	<p data-bbox="331 488 1018 595">住宅地図等，事務所周辺の状況を示す地図 (手書き可)</p> 
事務所写真	<p data-bbox="290 1258 1182 1429">現在の事務所の写真 建物の外観と会社名や屋号がわかる写真とすること。</p>

事業計画の概要

(1) 処理する（特別管理）産業廃棄物に関する事項

(産業廃棄物の種類、量及び性状並びに排出事業者の名称、所在地及び業種)

処理する廃棄物：産業廃棄物・特別管理産業廃棄物（どちらか一方に○印）							
	廃棄物		排出事業者			特別管理産業廃棄物 ^{※3} の場合	
	種類 ^{※1}	量(t/月)	名称	所在地	業種・施設 ^{※2}	廃棄物の種別	特定有害産廃に該当
1	廃プラスチック類	〇〇	〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	〇〇業		する・しない
2	紙くず	〇〇	〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	建設業		する・しない
3	取り扱う予定の全ての品目について記入。		代表的な取引先（予定含む）を数社記入。				する・しない
4							する・しない
5							する・しない
6							する・しない
7							する・しない
8							する・しない

※1 廃石綿等及びPCB類を扱う場合は「種類」欄に記入、PCB類の積替え保管は別途協議

※2 産業廃棄物の種類に業種の限定が無い場合及び特別管理産業廃棄物のうち特定有害産業廃棄物を含まない場合は省略可
また、特定有害産業廃棄物を含む場合で、廃油、汚泥、廃酸、廃アルカリについては業種を、燃え殻、ばいじんについては施設をそれぞれ記入

※3 廃掃法施行令第2条の4各号に規定する①揮発油類、灯油類及び軽油類、②強酸性、③強アルカリ性、④感染性、⑤その他を「廃棄物の種別」欄に記入、さらに特定有害産業廃棄物に該当する場合（廃石綿等及びPCB類を除く）には様式番号第12号別紙を記入

(2) 収集・運搬業者の名称、所在地及び許可番号

※	名称	所在地	許可番号
1	〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
2	〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
	(1) 1~8に対応して、取り扱う予定の全ての品目について記入。		

※(1)に記入した廃棄物の種類ごとの番号

(3) 中間処理後の廃棄物の種類及び量（中間処理の場合のみ記入）

※	種 類	量 (t/月)
1	廃プラスチック類	〇〇
2	紙くず	〇〇
3	(1) 1～8に対応して、取り扱う 予定の全ての品目について記入。	数量は(1) 1～8と整合させること。焼却等により明らかに処理後物の重量が減少する場合 以外は、数量が増減する理由も記載すること。
4		

(4) 積替え・保管又は、中間処理をした後の廃棄物の収集・運搬業者の名称、所在地及び許可番号

※	名 称	所 在 地	許 可 番 号
1	〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
2	〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号

※収集運搬（積替え・保管）にあたっては、(1)に記入した廃棄物ごとの番号
中間処理にあたっては、(3)に記入した廃棄物ごとの番号

(5) 積替え・保管又は、中間処理をした後の廃棄物の処分先の名称、所在地、処分方法、許可番号

※	名 称	所 在 地	処 分 方 法	許 可 番 号
1	〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	中間処理（選別）	第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
2	〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	最終処分	第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
	所在地は、本社ではなく、処分先の施設の 所在地を記載すること。			

※ 収集運搬（積替え・保管）にあたっては、(1)に記入した廃棄物ごとの番号
中間処理にあたっては、(3)に記入した廃棄物ごとの番号

申請する施設から特別管理産業廃棄物を搬出する場合には、処分先の許可証の写しを添付

処理前・処理後の廃棄物保管施設の概況

原則、廃棄物の種類ごとに保管施設を分ける

		処理前		処理後	
所在地		神戸市〇〇区〇〇町〇-〇-〇		神戸市〇〇区〇〇町〇-〇-〇	
面積		〇〇	(m ²)	〇〇	(m ²)
保管する廃棄物の種類		廃プラスチック類		廃プラスチック類	
保管能力 (重量, 体積)		<通常保管量>		<通常保管量>	
		〇〇	(トン)	〇〇	(トン)
		〇〇	(m ³)	〇〇	(m ³)
		<最大保管能力>		<最大保管能力>	
		〇〇	(トン)	〇〇	(トン)
		〇〇	(m ³)	〇〇	(m ³)
構造		<ul style="list-style-type: none"> ・建物内保管 ・コンクリート敷 等 		<ul style="list-style-type: none"> ・建物内保管 ・コンクリート敷 等 	
施行令第6条の基準に適合する措置	飛散に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内に保管する。 ・粉じんの飛散防止として散水を行う。 等		<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内に保管する。 ・粉じんの飛散防止として散水を行う。 等	
	流出に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内に保管する。 ・保管施設の周囲に側溝を設置 等		<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内に保管する。 ・保管施設の周囲に側溝を設置 等	
	地下浸透に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・保管施設の床面をコンクリート構造とする。 等		<ul style="list-style-type: none"> ・保管施設の床面をコンクリート構造とする。 等	
	悪臭発散に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入後速やかに処理を行い, 保管期間を短くする。 ・定期的に清掃し, 清潔保持に努める。 等		<ul style="list-style-type: none"> ・処理後速やかに搬出し, 保管期間を短くする。 ・定期的に清掃し, 清潔保持に努める。 等	
	ねずみの生息及び蚊, 蠅等の発生に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入後速やかに処理を行い, 保管期間を短くする。 ・定期的に防虫剤等を散布する。 等		<ul style="list-style-type: none"> ・処理後速やかに搬出し, 保管期間を短くする。 ・定期的に防虫剤等を散布する。 等	
保管期間		〇 日間		〇 日間	

保管面積及び最大保管能力の算定根拠が分かる資料(図面, 計算書等)を添付すること

排ガスの性状及び処理方法

排出口		煙突	
排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	〇〇,〇〇〇	処理に伴い、排ガスが発生する場合に記入
	乾き	〇〇,〇〇〇	
排出ガス温度 (°C)		〇〇	
排出ガス中の酸素濃度 (%)		〇〇	
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm ³)	〇〇	
	硫黄酸化物 (容量比 ppm)	〇〇	
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³)	〇〇	
	塩素 (mg/Nm ³)	〇〇	
	塩化水素 (mg/Nm ³)	〇〇	
	フッ素、フッ化水素及びフッ化珪素 (mg/Nm ³)	〇〇	
	鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	〇〇	
	窒素酸化物 (容量比 ppm)	〇〇	
ばい煙中の硫黄酸化物量 (Nm ³ /h)		〇〇	
排出口の実高 H ₀ ×頂口径 (m)		〇〇×〇	
補正された排出口の高さ H _e (m)		〇〇	
排出速度 (m/S)		〇〇	
付近の概要		周囲の土地利用状況、最寄りの民家、福祉施設等の方角等を記載	

放流水の水質・水量・放流方法及び放流先の概況

項目	排水口							維持管理基準	備考
		最大	通常	最大	通常	最大	通常		
1日あたりの排水量									
水質	アルキル水銀化合物								
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物								
	カドミウム及びその化合物								
	鉛及びその化合物								
	有機燐化合物								
	六価クロム化合物								
	砒素及びその化合物								
	シアン化合物								
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)								
	トリクロロエチレン								
	テトラクロロエチレン								
	ジクロロメタン								
	四塩化炭素								
	1,2-ジクロロエタン								
	1,1-ジクロロエチレン								
	シス-1,2-ジクロロエチレン								
	1,1,1-トリクロロエタン								
	1,1,2-トリクロロエタン								
	1,3-ジクロロプロペン								
	チウラム								
	シマジン								
	チオベンカルブ								
	ベンゼン								
セレン及びその化合物									
1,4-ジオキサン									

処理に伴い、排水が発生する場合に記入

項目	排水口							維持管理基準	備考
		最大	通常	最大	通常	最大	通常		
水質	ほう素及びその化合物								
	ふっ素及びその化合物								
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物								
	水素イオン濃度(pH)								
	生物学的酸素要求量(BOD)								
	化学的酸素要求量(COD)								
	浮遊物質(SS)								
	ルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)								
	ルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)								
	フェノール類含有量								
	銅含有量								
	亜鉛含有量								
	溶解性鉄含有量								
	溶解性マンガン含有量								
	クロム含有量								
	大腸菌群数								
	窒素含有量								
	燐含有量								
	ダイオキシン類 ※管理型最終処分場のみ								
	1,2-ジクロロエチレン ※安定型最終処分場のみ								
塩化ビニルモノマー ※安定型最終処分場のみ									
※その他の必要な項目									
※その他の必要な項目									
排水方法									
排出先の概況									
備考									

事業化収支計画の概要

① 施設建設費

機器設備費	〇〇〇,〇〇〇円
土木・建設費	〇〇〇,〇〇〇円
合計	〇,〇〇〇,〇〇〇円

② 管理運営人数

〇〇人

③ 年間所要経費（年間支出）

〇〇〇,〇〇〇円

④ 資金の調達方法

会社自己資金

借入等

⑤ 年間受託処理料金（年間収入）

〇,〇〇〇 円／トン × 〇,〇〇〇 トン = 〇〇〇,〇〇〇 万円

⑥ 事業化収支

	初年度	3年後
年間収入 ⑤	〇,〇〇〇,〇〇〇円	〇,〇〇〇,〇〇〇円
年間支出 ③	〇,〇〇〇,〇〇〇円	〇,〇〇〇,〇〇〇円
損益 ⑤－③	〇〇,〇〇〇円	〇〇,〇〇〇円

⑦ 非常事態発生時の対策資金の調達方法

金融機関からの借入れ

増資等

様式第六号の二(第九条の二関係)

誓約書

申請者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第5項第2号イからへに該当しない者であることを誓約します。

年 月 日

申請日を記入

神戸市長 宛

申請者

住所 ○○県○○市○○町○-○-○

氏名 ○○株式会社

代表取締役 ○○ ○○

(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

該当する場合のみ、提出

事業場の代表者である旨の申立書

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

申請日を記入

神戸市長様

(申請者)

法人の場合は、名称及び代表者の
役職・氏名を記入。

住所 ○○県○○市○○町○-○-○

氏名(名称) ○○株式会社

代表取締役 ○○ ○○

私(当社)は、下記の者が事業場の代表者であることを申し立てます。

記

1	<p>職名 ○○支店長</p> <p>氏名 ○○ ○○</p> <p>この申立書で事業場の代表者となった方は、政令使用人となり、住民票等の提出が必要。</p>
2	<p>事業場の代表者である理由</p> <p>当社が行う産業廃棄物処理業務の契約権限を上記の者に委任しているため。</p>

※留意事項 事業場の代表者となる条件

最低限、「申請者が行う産業廃棄物処理業務の契約権限が委任されていること。」が必要です。

なお、この申立書で事業場の代表者となった人は「政令使用人」となります。